



江戸の書物
 杭金
 巻二



あぢのりし

おみ十書

左

落

あぢのりしおみ十書

右橋

落

あぢのりしおみ十書

あぢのりしおみ十書

あぢのりしおみ十書

おみ十書

左橋

落

あぢのりしおみ十書

右

落

あぢのりしおみ十書

あぢのりしおみ十書

あぢのりしおみ十書

あぢのりしおみ十書

おみ十書

左橋

落

あぢのりしおみ十書

右

落

あぢのりしおみ十書

あぢのりしおみ十書

おみ十書

左

落

Handwritten musical notation on a five-line staff.

右

新阿

Handwritten musical notation on a five-line staff.

Handwritten musical notation on a five-line staff.

Handwritten musical notation on a five-line staff.

Handwritten musical notation on a five-line staff.

千六十二番

左

保長郎下

Handwritten musical notation on a five-line staff.

右端

後娘

Handwritten musical notation on a five-line staff.

Handwritten musical notation on a five-line staff.

Handwritten musical notation on a five-line staff.

Handwritten musical notation on a five-line staff.

千六十三番

左端

良平

Handwritten musical notation on a five-line staff.

右

丹後

Handwritten musical notation on a five-line staff.

Handwritten musical notation on a five-line staff.

千六十四番

左

良平

Handwritten musical notation on a five-line staff.

右端

越前

子六十七番

右

Handwritten musical notation on the right side of the top page.

左指

弦

右

指

Handwritten musical notation on the left side of the top page.

子六十八番

左指

右

Handwritten musical notation on the right side of the bottom page.

右

左

漢古今

Handwritten musical notation on the left side of the bottom page.

子六十七番

左指

右

Handwritten musical notation on the right side of the bottom page.

右

左

~~~~~の~~~~~の~~~~~

右

三

~~~~~の~~~~~の~~~~~

左

二

~~~~~

一

~~~~~

~~~~~の~~~~~の~~~~~

~~~~~の~~~~~の~~~~~

~~~~~の~~~~~の~~~~~

右

七

~~~~~の~~~~~の~~~~~

左

六

~~~~~

~~~~~

~~~~~の~~~~~の~~~~~

~~~~~の~~~~~の~~~~~

右

五

~~~~~の~~~~~の~~~~~

左

四

~~~~~

~~~~~の~~~~~の~~~~~

~~~~~の~~~~~の~~~~~

~~~~~の~~~~~の~~~~~

~~~~~の~~~~~の~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~



たすくくくくくくくくくく

おきりくくく

お七十一番

た

きり

おきりくくくくくくくく

右端

おきり

漢古今

おきりくくくくくくくく

おきりくくくくくくくく

おきりくくくくくくくく

おきりくくくくくくくく

おきりくくくくくくくく

おきりくくくく

お七十一番

た

おきり

おきりくくくくくくくく

右端

おきり

おきりくくくくくくくく

おきりくくくくくくくく

お七十三番

た

おきり

おきりくくくくくくくく

右

おきり

おきりくくくくくくくく

おきりくくくくくくくく

御十一日

右

右

右

右

右

右

右

御十一日

右

右

右

右

右

右

右

右

御十一日

右

右

右

右

右

右

の清代は三つにわかれしついでに三つに分かれしついでに右  
非代とあつたふらうしきよにわかれしついでに三つに分  
かたうしきよにわかれしついでに三つに分かれしついでに

子七十七

右指

保子指

右指の清代は三つに分かれしついでに三つに分かれしついでに

右

丹後

右指の清代は三つに分かれしついでに三つに分かれしついでに  
右指の清代は三つに分かれしついでに三つに分かれしついでに  
右指の清代は三つに分かれしついでに三つに分かれしついでに  
右指の清代は三つに分かれしついでに三つに分かれしついでに

子七十七

右指

右指

右指の清代は三つに分かれしついでに三つに分かれしついでに

右

右指

右指の清代は三つに分かれしついでに三つに分かれしついでに  
右指の清代は三つに分かれしついでに三つに分かれしついでに  
右指の清代は三つに分かれしついでに三つに分かれしついでに  
右指の清代は三つに分かれしついでに三つに分かれしついでに

子七十七

右

具親

右指の清代は三つに分かれしついでに三つに分かれしついでに  
右指の清代は三つに分かれしついでに三つに分かれしついでに  
右指の清代は三つに分かれしついでに三つに分かれしついでに  
右指の清代は三つに分かれしついでに三つに分かれしついでに

たすけのうらみはしるしにあらはれし世の  
天照大神に大抵名をよらむ世にけりし世の  
かゝる御事なほのちてはしるしにあらはれし世の  
のちてはしるしにあらはれし世の  
とてはしるしにあらはれし世の  
世にけりし世の  
はしるしにあらはれし世の

六十一

た

歌

たすけのうらみはしるしにあらはれし世の  
たすけのうらみはしるしにあらはれし世の

右

通

たすけのうらみはしるしにあらはれし世の  
たすけのうらみはしるしにあらはれし世の

たすけのうらみはしるしにあらはれし世の  
たすけのうらみはしるしにあらはれし世の

六十一

た

女

たすけのうらみはしるしにあらはれし世の  
たすけのうらみはしるしにあらはれし世の

右

難

たすけのうらみはしるしにあらはれし世の  
たすけのうらみはしるしにあらはれし世の  
たすけのうらみはしるしにあらはれし世の  
たすけのうらみはしるしにあらはれし世の  
たすけのうらみはしるしにあらはれし世の

六十一

に

右

久々此處の... (Handwritten text)

右

右

左

... (Handwritten text)

... (Handwritten text)

... (Handwritten text)

... (Handwritten text)

... (Handwritten text)

... (Handwritten text)

... (Handwritten text)

... (Handwritten text)

... (Handwritten text)

... (Handwritten text)

六十三番

右

左

... (Handwritten text)

右

左

... (Handwritten text)

... (Handwritten text)

... (Handwritten text)

六十三番

右

左

... (Handwritten text)

右

左

物に今なすまのさかえのひもあふりねと竹とけしはあへん  
のひもあふりねと竹とけしはあへん

子八十二

右

左

あふりねと竹とけしはあへん

右

左

あふりねと竹とけしはあへん

あふりねと竹とけしはあへん

あふりねと竹とけしはあへん

子八十二

左

右

あふりねと竹とけしはあへん

右

左

あふりねと竹とけしはあへん

あふりねと竹とけしはあへん

あふりねと竹とけしはあへん

あふりねと竹とけしはあへん

あふりねと竹とけしはあへん

あふりねと竹とけしはあへん

あふりねと竹とけしはあへん

あふりねと竹とけしはあへん

左

子八十二

た 拵

ま じり

まじりまじりまじりまじりまじりまじりまじりまじりまじりまじり  
右 萬 葉 集

万葉集の歌はあはれまじりまじりまじりまじりまじりまじりまじり  
まじりまじりまじりまじりまじりまじりまじりまじりまじりまじり

六十八番

た

横 波

万葉集の歌はあはれまじりまじりまじりまじりまじりまじりまじり  
右 拵 通 老 心

まじりまじりまじりまじりまじりまじりまじりまじりまじりまじり  
まじりまじりまじりまじりまじりまじりまじりまじりまじりまじり  
まじりまじりまじりまじりまじりまじりまじりまじりまじりまじり

六十九番

た

小 舟 娘

万葉集の歌はあはれまじりまじりまじりまじりまじりまじりまじり  
右 拵 新 阿

まじりまじりまじりまじりまじりまじりまじりまじりまじりまじり  
た あはれまじりまじりまじりまじりまじりまじりまじりまじりまじり  
六十九番

た 拵

澄 佐 物 伝

まじりまじりまじりまじりまじりまじりまじりまじりまじりまじり  
右 後 成 心 母

万葉集の歌はあはれまじりまじりまじりまじりまじりまじりまじり  
右の歌はあはれまじりまじりまじりまじりまじりまじりまじりまじり

きつねのしんじつにきつねのしんじつにきつねのしんじつに  
たきつねのしんじつにきつねのしんじつに

子九十一書

右

有義部下

きつねのしんじつにきつねのしんじつにきつねのしんじつに

右

丹後

きつねのしんじつにきつねのしんじつにきつねのしんじつに  
きつねのしんじつにきつねのしんじつにきつねのしんじつに  
きつねのしんじつにきつねのしんじつにきつねのしんじつに

子九十二書

左

保季部下

きつねのしんじつにきつねのしんじつにきつねのしんじつに

右

越前

きつねのしんじつにきつねのしんじつにきつねのしんじつに  
きつねのしんじつにきつねのしんじつにきつねのしんじつに  
きつねのしんじつにきつねのしんじつにきつねのしんじつに

子九十三書

左

右平

きつねのしんじつにきつねのしんじつにきつねのしんじつに  
きつねのしんじつにきつねのしんじつにきつねのしんじつに

右

定家部下

きつねのしんじつにきつねのしんじつにきつねのしんじつに  
きつねのしんじつにきつねのしんじつにきつねのしんじつに  
きつねのしんじつにきつねのしんじつにきつねのしんじつに

子九十四書

きつねのしんじつにきつねのしんじつに



左

具大親

志ありてありきわ平の百代とていひの世の年よりその

右結

通を御下

ふしむるもあはれおあまの未のれはまは禁あはるるの國の土

た奇難とてちて又とくはるもとらしてあはれ

右奇ゆゑある事減くともあはれれれ結とてし

千九十五番

左

取取

秀の代に教をぬまのあはれあはれとてしとてたはり

右結

最澄御下

ふけむるひのけのくわをたはらしてさよそまはれ代の子

んたはま難とてみしゆの但右いしがあ

ふしむるもあはれおあまの未のれはまは禁あはるるの國の土

子九十六番

左結

女房

秀の代に教をぬまのあはれあはれとてしとてたはり

右

常道

とちのわのちをて花とていひの世の年よりその

た奇の代にちのれはまは禁あはるるの國の土

来のよりのよはれ有餘情有言情を是書不然右

奇の世の事とてあはれとてしとてたはり

ひりかすのよはれ有餘情有言情を是書不然右

あはれ事とてあはれとてしとてたはり

子九十七番



右

422

Handwritten musical notation on a five-line staff, consisting of a series of rhythmic notes and rests.

千百二曲

尾指

423

Handwritten musical notation on a five-line staff, continuing the piece with various note values.

右

424

Handwritten musical notation on a five-line staff, featuring a mix of eighth and sixteenth notes.

千百二曲

尾指

425

Handwritten musical notation on a five-line staff, showing a continuation of the melodic line.

右

426

Handwritten musical notation on a five-line staff, with some notes beamed together.

千百三曲

尾指

427

Handwritten musical notation on a five-line staff, concluding the piece with a final note.

右

右

新阿

あつたのうきのかみはかりりけりまのせのむらさきの  
きこふつとふりていりていりていりていりていりていり

あつたのうきのかみ

た

お侍様

あつたのうきのかみはかりりけりまのせのむらさきの

右様

後お侍

あつたのうきのかみはかりりけりまのせのむらさきの

あつたのうきのかみはかりりけりまのせのむらさきの

あつたのうきのかみ

あつたのうきのかみ

た

治任様

あつたのうきのかみはかりりけりまのせのむらさきの

右

お侍

あつたのうきのかみはかりりけりまのせのむらさきの

あつたのうきのかみはかりりけりまのせのむらさきの

あつたのうきのかみはかりりけりまのせのむらさきの

あつたのうきのかみはかりりけりまのせのむらさきの

あつたのうきのかみ

た

お家様

あつたのうきのかみはかりりけりまのせのむらさきの

右

お侍

あつたのうきのかみはかりりけりまのせのむらさきの

あつたのうきのかみはかりりけりまのせのむらさきの



Handwritten text at the top of the right page.

子百十一書

左 指

歌 昭

Main handwritten text on the right page, first line.

右

雅 神

Main handwritten text on the right page, second line.

Handwritten text on the right page, third line.

子百十一書

左 傍

女 房

Main handwritten text on the right page, fourth line.

右

歌 長

Main handwritten text on the right page, fifth line.

Main handwritten text on the left page, starting with 'たまはら...'

子百十一書

左 傍

左 女 房

Main handwritten text on the left page, second line.

右

歌 長

Main handwritten text on the left page, third line.

子百十一書

子百十一書

右の通り〜〜〜〜〜  
〜〜〜〜〜  
〜〜〜〜〜

子百十文

右

お持物

あ〜〜〜〜〜  
〜〜〜〜〜

右

お持物

徳の通り〜〜〜〜〜  
〜〜〜〜〜

〜〜〜〜〜  
〜〜〜〜〜

〜〜〜〜〜  
〜〜〜〜〜

〜〜〜〜〜  
〜〜〜〜〜

〜〜〜〜〜  
〜〜〜〜〜

〜〜〜〜〜  
〜〜〜〜〜

〜〜〜〜〜

子百十文

右

お持物

あ〜〜〜〜〜  
〜〜〜〜〜

右

お持物

あ〜〜〜〜〜  
〜〜〜〜〜

〜〜〜〜〜  
〜〜〜〜〜

〜〜〜〜〜  
〜〜〜〜〜

子百十文

右

お持物

あ〜〜〜〜〜  
〜〜〜〜〜

右

お持物

七二

七二

くわりのあはれにむかひの日の朝にまはるるはつらきことし  
あひの日のあはれにむかひの日の朝にまはるるはつらきことし

持

千百十八番

右持

季能心

非為山下は雲のあはれにむかひの日の朝にまはるるはつらきことし

右

通光心

万代のあはれにむかひの日の朝にまはるるはつらきことし  
たの作勢神祇のまねあるはつらきことし  
ふきしはつらきことし  
あはれにむかひの日の朝にまはるるはつらきことし

千百十七番

左持

冬田心

昔のあはれにむかひの日の朝にまはるるはつらきことし

右

秋阿

後者のあはれにむかひの日の朝にまはるるはつらきことし

たのあはれにむかひの日の朝にまはるるはつらきことし

よもぎあはれにむかひの日の朝にまはるるはつらきことし

千百十八番

左

横波

志強いのあはれにむかひの日の朝にまはるるはつらきことし

右持

後鳥心

あはれにむかひの日の朝にまはるるはつらきことし  
たのあはれにむかひの日の朝にまはるるはつらきことし

新撰



おはなせうのうらなひのうらなひのうらなひのうらなひ

子百十九歳

左 拵

小侍後

みらぬ母なるのうらなひのうらなひのうらなひのうらなひ

右

丹後

毎乃あひのうらなひのうらなひのうらなひのうらなひ

いづれもあひのうらなひのうらなひのうらなひのうらなひ

子百廿二歳

左

澄信節下

あひの母なるのうらなひのうらなひのうらなひのうらなひ

右 拵

越前

あひの母なるのうらなひのうらなひのうらなひのうらなひ

あひの母なるのうらなひのうらなひのうらなひのうらなひ  
あひの母なるのうらなひのうらなひのうらなひのうらなひ

子百廿一歳

左 拵

有政節下

あひの母なるのうらなひのうらなひのうらなひのうらなひ

右

定家節下

あひの母なるのうらなひのうらなひのうらなひのうらなひ

あひの母なるのうらなひのうらなひのうらなひのうらなひ

子百廿二歳

左 拵

保孝節下

あひの母なるのうらなひのうらなひのうらなひのうらなひ

右

通光節下



しんじくしんてきんぎょ

千五百番神合巻第十六 慈一 判者生蓮

子百廿六番

左 傍

右 傍

是等の山きいふのしんじくしんてきんぎょ

右

左

我神より少くはぬめしむ河海いふる多にとうんとするん  
凡言古しこのあしんじく山下みれいふれても傍言を  
とりあはれて傍言よりいふる多にとうんとするん  
時海いふる多にとうんとするんは傍言はとも  
け忍あはつる多に傍言はともいふる多にとうん  
傍言はともいふる多にとうんとするん

子百廿七番

子百廿七番







Handwritten text in cursive script, starting with a large character on the right side of the page.

Handwritten characters, possibly a date or a specific reference.

た

保平の

Handwritten text in cursive script, continuing the main body of text.

右橋

象澄の

Handwritten text in cursive script, continuing the main body of text.

Handwritten text in cursive script, continuing the main body of text.

Handwritten text in cursive script, continuing the main body of text.

Handwritten text in cursive script, continuing the main body of text.

Handwritten characters, possibly a date or a specific reference.

Handwritten characters, possibly a date or a specific reference.

た

保平

Handwritten text in cursive script, continuing the main body of text.

右橋

雅治

Handwritten text in cursive script, continuing the main body of text.

Handwritten text in cursive script, continuing the main body of text.

Handwritten text in cursive script, continuing the main body of text.

Handwritten characters, possibly a date or a specific reference.

た

具親

Handwritten text in cursive script, continuing the main body of text.

右橋

兼重

Handwritten text in cursive script, continuing the main body of text.

子百四十一書

た

たさむらひくゆのたからん国をよるわゆの二

の書

たさむらひくゆのたからん国をよるわゆの二

右書

最上

口大

たさむらひくゆのたからん国をよるわゆの二

たさむらひくゆのたからん国をよるわゆの二

子百四十一書

た書

右書

たさむらひくゆのたからん国をよるわゆの二

右

最上

たさむらひくゆのたからん国をよるわゆの二

たさむらひくゆのたからん国をよるわゆの二

たさむらひくゆのたからん国をよるわゆの二

子百四十一書

た書

右書

たさむらひくゆのたからん国をよるわゆの二

右

最上

たさむらひくゆのたからん国をよるわゆの二

たさむらひくゆのたからん国をよるわゆの二

子百四十一書

た書

右書

最上

たさむらひくゆのたからん国をよるわゆの二

子百四十一書

た



右

善いなり

富士はあんなに高くあんなに美しい山をのぞいては

たきのくさくさの音はあんなに静かであんなに

たけのこ

ひ百中

たけ

たけ

ま

ひらひらとたけのこはあんなに静かであんなに

右

通る

ふたふたのたけのこはあんなに静かであんなに

たけのこはあんなに静かであんなに

たけのこはあんなに静かであんなに

たけのこはあんなに静かであんなに

たけのこはあんなに静かであんなに

ひ百中

たけ

たけ

たけのこはあんなに静かであんなに

右

たけ

ま

たけのこはあんなに静かであんなに

たけのこはあんなに静かであんなに

たけのこはあんなに静かであんなに

ひ百中

たけ

たけ

たけのこはあんなに静かであんなに

右

後

右 指  
右 指  
右 指  
右 指  
右 指

右 指  
右 指  
右 指

右 指  
右 指  
右 指

右 指  
右 指  
右 指

右 指  
右 指  
右 指

右 指  
右 指  
右 指

右 指  
右 指  
右 指

右 指  
右 指  
右 指

右 指  
右 指  
右 指

~~~~~

百六十一書

左

澄信下

~~~~~

右

通

~~~~~

~~~~~

~~~~~

百六十一書

左

有

~~~~~

右

家

~~~~~

~~~~~

~~~~~

百六十一書

左

保

~~~~~

右

雅

~~~~~

~~~~~

~~~~~

百六十一書

左

名

あはたはるあはるき

中百五十八番

た 拵

か 槍 拵

無残は海のものなればしの風も言はぬものぞや

右

通老心

月のよきはてしなくあかきる花はしらばしを花代の

たきあひしうらうらなれは有無あはれ_法の

右 寄りの花あひしうらしてしをたはれしを花代

のまし花はあひしうらしを花代_のあはる

子百五十九番

た 拵

公 徳 心

しあはれはてしなくあかきる花はしらばしを花代の

右

新 河

あはたはるあはるき

たしあはるあはるき

花あひしうらうらなれは有無あはれ_法の

のまし花はあひしうらしを花代_のあはる

あはたはるあはるき

子百六十番

た

公 徳 心

あはたはるあはるき

右 拵

後 徳 心

あはたはるあはるき

たしあはるあはるき

つとてしるこころしめれ

子百廿一

左指

まがね

ちりほくはくしるこころしめれ

右

まがね

まがね

あつちりほくはくしるこころしめれ

たのまはあつちりほくはくしるこころしめれ

あつちりほくはくしるこころしめれ

けしあつちりほくはくしるこころしめれ

子百廿一

左指

まがね

あつちりほくはくしるこころしめれ

右

まがね

あつちりほくはくしるこころしめれ

あつちりほくはくしるこころしめれ

あつちりほくはくしるこころしめれ

あつちりほくはくしるこころしめれ

あつちりほくはくしるこころしめれ

子百廿一

左

まがね

あつちりほくはくしるこころしめれ

右指

まがね

あつちりほくはくしるこころしめれ

あつちりほくはくしるこころしめれ

つれてつり右の控とらるるまてかたなる紙
折りと魚一とらるるまてかたなる紙
らへとらるるまてかたなる紙

百六十番

左

右の控

後拾

つりてゆりのまをゆき舟のまをゆき舟のまをゆき舟

右の控

通の控下

後拾

つりてゆりのまをゆき舟のまをゆき舟のまをゆき舟
にゆきのまをゆき舟のまをゆき舟のまをゆき舟
まをゆき舟のまをゆき舟のまをゆき舟のまをゆき舟
のまをゆき舟のまをゆき舟のまをゆき舟のまをゆき舟
のまをゆき舟のまをゆき舟のまをゆき舟のまをゆき舟

百六十番

左

右の控下

つりてゆりのまをゆき舟のまをゆき舟のまをゆき舟
右
家港朝良

つりてゆりのまをゆき舟のまをゆき舟のまをゆき舟
つりてゆりのまをゆき舟のまをゆき舟のまをゆき舟

後拾

左

右の控下

後拾

右

右の控

つりてゆりのまをゆき舟のまをゆき舟のまをゆき舟
つりてゆりのまをゆき舟のまをゆき舟のまをゆき舟
つりてゆりのまをゆき舟のまをゆき舟のまをゆき舟

Handwritten cursive text on the right side of the page.

右
108

右

保亨

Handwritten cursive text on the left side of the page.

右

保亨

Handwritten cursive text on the right side of the page.

右
109

右

保亨

Handwritten cursive text on the right side of the page.

右

保亨

Handwritten cursive text on the right side of the page.

右
110

右

保亨

Handwritten cursive text on the right side of the page.

右

保亨

Handwritten cursive text on the right side of the page.

あはれなるはつとて
あはれなるはつとて
あはれなるはつとて
あはれなるはつとて

子百七十一

左

歌

あはれなるはつとて
あはれなるはつとて
あはれなるはつとて
あはれなるはつとて

右

曲

あはれなるはつとて
あはれなるはつとて
あはれなるはつとて
あはれなるはつとて

子百七十一

左

女

あはれなるはつとて
あはれなるはつとて
あはれなるはつとて
あはれなるはつとて

右

道

あはれなるはつとて
あはれなるはつとて
あはれなるはつとて
あはれなるはつとて

子百七十二

左

女

あはれなるはつとて
あはれなるはつとて
あはれなるはつとて
あはれなるはつとて

右

道

子百七十二

子百七十二

Main handwritten text on the right page, consisting of several lines of cursive script.

Handwritten text on the right page, possibly a date or a specific reference.

右接 (Right connection)

左接 (Left connection)

Handwritten text on the right page, continuing the cursive script.

Handwritten text on the right page, continuing the cursive script.

Handwritten text on the right page, possibly a date or a specific reference.

右 (Right)

左 (Left)

Handwritten text on the right page, continuing the cursive script.

右接 (Right connection)

左接 (Left connection)

Handwritten text on the right page, continuing the cursive script.

Handwritten text on the right page, continuing the cursive script.

Handwritten text on the right page, continuing the cursive script.

Handwritten text on the right page, continuing the cursive script.

Handwritten text on the right page, continuing the cursive script.

Handwritten text on the right page, possibly a date or a specific reference.

右接 (Right connection)

左接 (Left connection)

Handwritten text on the right page, possibly a date or a specific reference.

Handwritten text on the right page, possibly a date or a specific reference.

左指

換發

百七十八番

百七十八番

百七十八番

百七十八番

右指

換發

百七十八番

左

換發

百七十八番

百七十八番

百七十八番

百七十八番

百七十八番

百七十八番

百七十八番

右指

換發

百七十八番

左

換發

百七十八番

百七十八番

百七十八番

百七十八番

右

換發

百七十八番

あつたむらさきいろのうらなひのうらなひ

右

通を都下

あつたむらさきいろのうらなひのうらなひ

あつたむらさきいろのうらなひのうらなひ

あつたむらさきいろのうらなひ

左

小待姫

あつたむらさきいろのうらなひのうらなひ

右

家澄都下

あつたむらさきいろのうらなひのうらなひ

あつたむらさきいろのうらなひのうらなひ

あつたむらさきいろのうらなひのうらなひ

あつたむらさきいろのうらなひ

右

澄信都下

あつたむらさきいろのうらなひのうらなひ

右

雅純

あつたむらさきいろのうらなひのうらなひ

あつたむらさきいろのうらなひのうらなひ

あつたむらさきいろのうらなひのうらなひ

あつたむらさきいろのうらなひのうらなひ

あつたむらさきいろのうらなひ

あつたむらさきいろのうらなひ

左

有原都下

あつたむらさきいろのうらなひのうらなひ

右

藤一都下

あつたむらさきいろのうらなひ

十九

右

右

Handwritten cursive script on the right side of the top page.

子百八十七

右

右

Handwritten cursive script on the right side of the bottom page.

右

右

Handwritten cursive script on the left side of the bottom page.

Handwritten characters at the top of the left page.

子百八十七

右

右

Handwritten cursive script on the right side of the left page.

右

右

Handwritten cursive script on the left side of the left page.

子百八十七

右

右

Handwritten cursive script on the right side of the left page.

右

右

Handwritten musical notation on the right page, consisting of a single staff with notes and rests.

六百八十八番

左指

右指

Handwritten musical notation on the left page, consisting of a single staff with notes and rests.

左

右

Handwritten musical notation on the right page, consisting of a single staff with notes and rests.

六百八十九番

左指

右指

Handwritten musical notation on the left page, consisting of a single staff with notes and rests.

右

左

右

酒具約下

吉野川若う原のよびたつりりきあまれ津さくけく
右のいふゆりまわさつりりきあまれ津さくけく
あまれ津さくけくあまれ津さくけく

千石九十二番

左橋

橋波

^{お古今}
あまれ津さくけくあまれ津さくけく

右

象津約一

あまれ津さくけくあまれ津さくけく
あまれ津さくけくあまれ津さくけく
あまれ津さくけくあまれ津さくけく
あまれ津さくけくあまれ津さくけく

千石九十二番

左

水橋

あまれ津さくけくあまれ津さくけく

右橋

雅約

^{橋波}
あまれ津さくけくあまれ津さくけく

あまれ津さくけくあまれ津さくけく

あまれ津さくけくあまれ津さくけく

千石九十二番

左橋

津約下

あまれ津さくけくあまれ津さくけく

右

第一節

あまれ津さくけくあまれ津さくけく

たきつゝのこころのたけなほのつとめ
あはれなるこころ

千百九十八番

左橋

有末節一

あはれなるこころのたけなほのつとめ

右

あはれ

あはれなるこころのたけなほのつとめ

あはれなるこころのたけなほのつとめ

あはれなるこころのたけなほのつとめ

右二の橋

千百九十七番

左橋

保まねた

あはれなるこころのたけなほのつとめ

右

あはれ

あはれなるこころのたけなほのつとめ

あはれなるこころのたけなほのつとめ

千百九十八番

左

あはれ

あはれなるこころのたけなほのつとめ

右橋

あはれ

あはれなるこころのたけなほのつとめ

あはれなるこころのたけなほのつとめ

あはれなるこころのたけなほのつとめ

千百九十九番

た

も親

~~~~~

た

た

~~~~~

~~~~~

千二百

た

た

~~~~~

た

た

~~~~~

~~~~~

